

計算書類に関する注記（印紙・証紙販売特別会計）

1 重要な会計方針

(1) 資金の範囲について

資金の範囲には、現金預金、棚卸資産、貯蔵品、未払金、短期借入金を含めることにしている。

なお、前期末及び当期末残高は2に記載のとおりである。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価法

個別法（原価法）によっている。

(3) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

2 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	4,635,035	2,057,825
棚卸資産	15,318,415	13,880,135
貯 蔵 品	36,550	1,240
合 計	19,990,000	15,939,200
未 払 金	0	1,949,200
短期借入金	18,000,000	12,000,000
合 計	18,000,000	13,949,200
次期繰越収支差額	1,990,000	1,990,000